

サティヤ サイ ババの教え

ヒーラー

ヒスロップ カリフォルニア州で、あるヒーラーが、サティヤ サイ センターに加入して自分の治癒力をババの帰依者たちのために使うことを希望しているという状況があります。そのセンターの会長は、そのヒーラーの手から流れる力によって病気が癒されたことがあると言っています。そして彼は、そのヒーラーはババが送ってくださったのであり、ババがそのヒーラーを通じて癒しを行っておられるのだと考えています。私はこの件に関するスワミのお考えをお伺いするように頼まれたのです。

サイ そのヒーラーから流れている力はスワミのエネルギーではありません。それは邪悪な力です。そのヒーラー自身が癒しを必要としています。神の力はいたるところに存在しています。それは、人の内部から出てきます。(ヒスロップと車の運転手を指して) この二人の身体は、丈夫で健康です。(健康は神の力によるものであり、ヒーラーという外部の媒体は必要としないという意味)

ヒスロップ そのヒーラー自身も疑問に思っているのです。彼は自分のやっていることが良いことがどうか知りたいのです。

サイ それは良いことではありません。そのヒーラーから流れているのは神聖な力ではありません。

ヒスロップ それでは私たちは、どのようにして癒しを受ければよいのでしょうか？

サイ 通常の医療手段と祈りによってです。

ヒスロップ でも、スワミ、病気の人がヒーラーによって癒されたという例が世界中で何千もありますが、彼らの場合はどうなのでしょう？

サイ どんな恩恵を受けたにしても、それは一時的に治癒されたと感じるだけのことであり、本当に癒されたものではありません。もし癒しが起きるとすれば、その人が神を感じたり、神のことを思ったりしたことによるのです。

『サティヤ サイ ババとの対話』 p196-197